



西南杜の湖畔公園

インクルーシブな子ども広場づくり

第2回ワークショップニュース:基本プランの作成

みんなが
もっと一緒に
楽しめる
公園に!

- 10:00 第2回 プログラム
はじめに
全体計画及び
本日のプログラムの説明
- 10:10 グループ内自己紹介
- 10:20 インクルーシブ広場について
- 10:25 利用状況について
- 10:30 前回のおさらい
- 10:40 整備基本方針・整備イメージ
- 10:55 広場の基本プランを考える
- 11:40 発表と評価
- 11:55 まとめ・さいごに



誰もが気軽に一緒に楽しめる遊び場「インクルーシブな子ども広場」の整備を行うこととなった西南杜の湖畔公園について、整備内容の検討を行うためのワークショップを開催しています。

* * * * *

第2回は、令和5年10月28日(土)に「基本プランの作成」をテーマに開催しました。

まずは「インクルーシブ広場」や「現地の利用状況」について説明を聞き、改めて「インクルーシブな子ども広場づくり」について共有しました。

これを踏まえて第1回の現地確認の結果をおさらいし、本日の作業の進め方を確認したのち、グループごとに「基本プラン」を作成、アイデアを出し合いました。

それぞれのグループの基本プランの発表を受け、良いところを共有しました。

ワークショップ流れ

第1回
令和5.10.7(土)10:00~12:15
@七隈公民館
「現地確認とアイデア出し」



第2回
令和5.10.28(土)10:00~12:00
@七隈公民館
「基本プランの作成」



第3回
令和5.11.18(土)10:00~2時間程度
@七隈公民館
「プランのまとめ」

第4回
令和5.12.23(土)10:00~2時間程度
@七隈公民館
「最終プランの確認」

自己紹介:「わたしの良いところ」をお題に、グループごとに自己紹介し、グループ名を付けました。

グループ内自己紹介

名前	年齢	所属
うめばやし	40	チーム
うめばやし	45	チーム
うめばやし	50	チーム

うめばやし
チーム



グループ名 『うめばやしチーム』

チューリップチーム

グループ内自己紹介

名前	年齢	所属
チューリップ	40	チーム
チューリップ	45	チーム
チューリップ	50	チーム

グループ名 『チューリップチーム』



インクルーシブな子ども広場とは・・・



インクルーシブな子ども広場とは、

「誰もが お互いを理解し 安心して笑顔で
自分らしく遊ぶことができる場所」

であり、そのためには、

「子どもの特性に応じた選択肢があることが必要」
です。

「整備にあたっては様々な配慮が必要」です。



第1回ワークショップの補足説明
どこかには自分が遊べる場所があるということが、
子どもたちにとって希望になる

* * * * *

- 特定の障がいの対応にかたよると、一方で、他の障がいのある子や障がいのない子が遊びにくくなってしまいうことも考えられるため、子どもたちの様々な特性に対応した、様々な遊びの種類とエリアを配置することで、利用者が自分にあった遊びや過ごし方を選べることも重要です。
- 整備内容を利用人数の多少のみで考えるのではなく、様々な特性への配慮があることが、子どもたちにとって「どこかには自分の遊べる場所がある」という希望になります。そこにアプローチしていくのが「インクルーシブな子ども広場」と考えています。

現地の利用状況



現在の利用にも
配慮するよ



第3回のご案内 / 申込み・問合せ先

令和5. **11.18(土)10:00~** 2時間程度 @七隈公民館

「プランのまとめ」

●申込み・問合せ先

福岡市役所 公園部 整備課 (担当: 佐々木・永家)

メール koenseibi.HUPB@city.fukuoka.lg.jp

電話 092-711-4410

介助が必要な方やお子様連れでも安心してご参加いただけるよう、見守りスタッフを配置します。
必要な方はお早めにお申し込みください。

11/15(水)まで
参加者募集中!
お気軽にご参加
ください!



広場の基本プランを考える：グループごとに「インクルーシブな子ども広場」の整備基本方針に沿って敷地図面に広場の配置等を描きました。
また、お互いのプランに対し、良かった点をそれぞれ発表しました。

※お互いのプランの
良かった点

これらのご意見
をもとに作成し
た事務局案を次
回はまとめます



グループ名 『うめばやし44』
「誰もが お互いを理解し 安心して笑顔で 自分らしく遊ぶことができる場所」

うめばやし チーム

見守りゾーンが2つで 駐輪場を近くに持って くる案がいい

見守りゾーンが 高い場所と低い 場所の2箇所 あるのがいい

ひとり遊びゾーンを “音”の有無で分ける 視点がいい

トイレ 再整備 (70cm バリアフリー)

ベンチ (多く設置)

日陰に 木は残す

手触り

形を 楽しむ

音を 楽しむ

水遊び

バランス

登る

滑る

跳ねる 飛ぶ

絵

自然 (自然活用)

ベンチ (70cm)

スポーツ 伝統的な 集団遊び

投げる 走る

滑る

自然

芝生広場 自然遊び活用

案内板

駐輪場

ゾーン 囲み方が いい

対象区域外まで 考える計画への “思い”がある

対象地平面図 S=1/100

ゾーン分けの理由：トイレ南側を活用した自然遊びゾーン。現況の高低差を活用

- ・現在の遊具広場とふれあい広場との高低差は活かすが、降りやすいようスロープや手すりをつくる
- ・現在のふれあい広場は平坦にして、ひとり遊びゾーンとして整備
- ・野球場観戦エリアは平坦にして、交流遊びゾーンの一部としても活用
- ・トイレ南側の林を活かした自然遊びや小さな子どもでも楽しめるゾーン

遊びの種類を選んだ理由：子ども達に人気

- ・幅の広いすべり台で、大人数でも楽しめる
- ・トイレ南側の自然遊びゾーンには、既存の水道施設を活用した水遊び場
- ・ひとつの遊具にはひとつの遊びではなく、機能をプラス

周辺施設アイデアの 推しポイント：路面サインでワクワク感と日陰のあるベンチ

- ・日除け・植栽・ベンチをワンセットにし、広場全体に分散させる
- ・管理事務所から広場へ向かって路面サインで「〇〇m」を表示して誘導

その他

- ・車いすなどでも乗降しやすいよう、駐車スペースを広くする



ゾーン分けの理由：土地の高低差でゾーン分け

- ・ひとり遊びゾーンの“音あり”は土地が高い南側、“音なし”は低い北側に分散し、間に交流遊びゾーン
- ・見守りゾーンも土地が高い南側と低い北側に分散して公園全体を見守り

遊びの種類を選んだ理由：いろんな遊びを配置、選んで欲しい

- ・いろんな遊びを選べるように遊具をたくさん配置

周辺施設アイデアの 推しポイント：芝生広場の自然地形を活かす。トイレ南側の林を活かす。

- ・芝生広場は今のままを活かした自然遊び場として活用
- ・トイレの南側の林を活用した自然遊びとひっそり空間

その他

- ・見守りゾーンにはテーブル・ベンチ・縁台、バギー置き場
- ・日陰になる木は残す、ベンチをたくさん設置
- ・案内板を北側と南側の広場出入口に設置



チュールリップ チーム 『チュールリップチーム』
「誰もが お互いを理解し 安心して笑顔で 自分らしく遊ぶことができる場所」

路面サイン 〇〇m

トイレの横を 有効に利用して 小さい子どもでも 利用しやすい

フラットにしたら?

お金はいくらも おいといて!!

機能に フラット

ななまらけ 色とりどり

ゾーンを 分けて いいの?

住民の 理解が ありそう

既存をうまく 活用している

日陰とベンチの 組合せがいい

対象地平面図 S=1/100

路面サイン等 駐車場からの アクセスも 考えている

既存をうまく 活用している

日陰とベンチの 組合せがいい